外注化阻止ニュース 第４７２号

〔発行日〕２０２０年３月２５日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

JRはコロナ感染防止を真剣に行え

会社の責任で感染対策・生活保障を

アリバイ的な感染対策

ＪＲ東日本は３月４日まで新幹線と成田エクスプレス以外は「新型コロナウイルス対策」を行っていませんでした。

ようやく３月５日にほかの在来線についても車両センターでの清掃時に消毒液を付けたクロスで手すりを拭く消毒作業を開始しました。

しかし実態は「宣伝用のアリバイ対策」と言わざるをえません。

感染対策は、公共交通機関であれば当然想定しなければならない問題です。政府は学校の一斉休業を行いましたが、通勤列車がそれ以上に危険なことは誰の目にも明らかです。本来なら特別チームを作っての消毒作業も必要です。

しかしＪＲ東日本には、まともな対策を行う体制がありません。車両の清掃作業はコスト削減が続き、グループ会社で働く労働者の多くが非正規雇用で人員もギリギリの体制です。

ＪＲ千葉鉄道サービス（ＣＴＳ）は３月14日のダイ改に合わせて清掃作業員の削減を強行しました。コロナ対策で要員増が必要なときに逆に削減したのです。ＣＴＳは団体交渉で「つり革はＪＲから発注されていないから拭かない」とまで回答しています。

「有休活用優先を」→撤回

日本郵政、批判受け

日本郵政が子供がいる社員に対し、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国の助成制度を使わず、年次有給休暇を消化するよう指示した問題で、同社は16日、方針を撤回した。「乱用されると職場が回らなくなる」としていたが、政府や社内の批判を受けて軌道修正した。

助成制度は臨時休校に伴って仕事を休まざるを得なくなった保護者を対象に、賃金の一部を支給。日本郵政は4日、制度を活用した特別休暇の取得は、年次有給休暇をすべて消化した後とする方針を社員に通知。多くの職員が特別休暇を取ると職場が回らなくなることから、制度を「乱用しないよう」呼びかけた。

これに対し、社内からは「休みづらくなる」との声が出ていたほか、加藤勝信厚生労働相が13日の閣議後記者会見で、「年次有給休暇の有無に関わらず、新たな制度を労働者に利用していただくよう お願いをしている」と苦言を呈していた。

日本郵政は16日、臨時休校した小学校、特別支援学校（高校まで）に通う児童・生徒の世話をする場合、特別休暇扱いとする文書を社内に通知。年次有給休暇で休んだ社員については2月27日までさかのぼって適用する。ただ、郵便局の業務が人手不足で滞る事態が起きないよう、要員確保に「最大限の配慮」を求めた。日本郵政は「政府の見解が明確に示されたので、会社として最大限対応した」と方針転換の理由を説明している。【加藤明子】

休校に伴う休みは有給に

ＪＲ東日本が「感染対策防止」として打ち出した内容は「無給なら休んでいい」「有給休暇を使いたいならご自由に」というものです。臨時休校で保護者が仕事を休んだ場合について、政府は収入補償の助成金を出すと言っているのにそれさえ無視しています。

感染防止のためには、診断書がなくても「体温37・5度以上の場合」「家族に感染疑いがある場合」などの基準で自宅待機にする、「感染対策休」として有給扱いにするなどの対応が必要です。

生活のために無理して出勤すれば感染拡大につながります。鉄道を通じて全国に感染を拡大する可能性もあります。必要なときに安心して休める要員確保と賃金補償は不可欠です。